



# むかい

## 学校教育目標

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく
- ・なかよく

## たくさんの経験を

校長 田山 豊

1学期も残すところ児童の登校日は、14日間となりました。登下校時には、大きな怪我や事故も無かったことは、保護者の皆様や見守りをしてくださる地域の皆様のお陰です。心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

2022年の読書調査（ベネッセ教育総研調べ）によりますと、小学1～3年生の平日読書時間 15.1分 小学4～6年生の平日読書時間 16.8分 中学生の平日読書時間 16.3分 高校生の平日読書時間 12.4分 でした。最近気になるのは、小学生の不読書者37.8%だそうです。以前にあった調査時よりも増加しています。小学生全体で、4人に1人が1カ月に1冊も本を読んでいない結果だそうです。

人が忙しい時や疲れている時、「真っ先に削る時間」は「本を読む時間」「旅に行く（何か体験する）時間」「人に会う時間」と言われています。もしかしたら現代の子供たちは「忙しくて疲れているのでは？」または「文字ではなく、映像や視聴、ゲームに時間をとっているのでは？」と思いました。



2022年の小学生の読書に関する実態調査から下記のことがわかりました。

- ・読書の量が多い子供ほど、知識や思考力にプラスの効果が見られた。
- ・幅広い読書は思考力や想像力にプラスの効果が見られる。
- ・読書の量が多い子供は、本を読んでいて「時間のたつのを忘れるくらい夢中になる」「心が落ち着く」を肯定する比率が高い。
- ・「自分で調べる」「話題が増える」等の幅広いメリットがある。

「人は『本・旅（体験）・人』で心が育つ」とも言われています。読書は、子供たちの楽しみを広げ、多様な考えに気づきかせてくれます。また、心情表現を学ぶことで「自らの本当の気持ちに気づく」こともあります。一冊の本に出会えたことで、人生が大きく変わったという方もおられます。こうなると、本はただの読み物ではなく「人」だと思ふのです。

いよいよ夏休み。時間はたっぷりあります。この「心が育つチャンス」を大いに生かし、「たくさんの本と出会い、豊かな体験（話）、人・友との交流」をこの夏たくさんしてもらって、心が大きく成長した子どもたちに会えることを楽しみにしています。始業式に笑顔で会いましょう。